

# 弘法山から高取山へ低山ハイキング

開催日：2025年11月29日（土） 曇りのち晴れ 健脚レベル1 22000歩 約11.5km

出 発：小田急線秦野駅9時

コース：秦野駅→水無川左岸→弘法山公園入口→浅間山（標高196m）→権現山<sup>神社</sup>（標高243.3m）  
→馬場道→弘法山<sup>神社</sup>（標高235m）→野菊と信仰の道→善波峠→念仏山（標高355m 昼食）  
→高取山（556.2m）→聖峰<sup>神社</sup>（標高380m）・聖峰不動尊→九十九曲参道→  
三之宮比々多神社<sup>神社</sup>→神戸バス停（バス）→伊勢原駅

参加者：熊坂L 市村SL 勅使河原 河野 山田 高橋友 岩元 大城 亀田 工藤 唐 飯倉 沼津  
中西 白田 高橋玲 稲葉 舟田 網 計19名

「弘法山から高取山へ低山ハイキング」、5山1峰縦走です。晩秋の澄んだ空気と高い空の秦野駅をスタート。いきなり急登の浅間山、権現山からの360°の大パノラマ。馬場道を歩き弘法山へ、景観を楽しんで念仏山へ上り昼食タイム。木の根の這った急登を登り高取山へ、山頂からは雄大な大山の景観。急峻な下りをクリアして聖峰から関東平野を一望、九十九曲参道を下って下山。ご褒美は、冬桜・皇帝ダリア・ミカン・柿・紅葉など色とりどりの贅沢な晩秋の里山歩きでした。

少しハードと思われる健脚レベル1コース、歩きがいのある楽しい5山1峰を踏破しての縦走でした。健脚初デビューの舟田さんと網さんも健脚ぶりを発揮。健脚仲間が増えた思い出残る楽しいハイキングでした。



# 秦野駅9時～まほろば大橋～水無川左岸～弘法山公園入口

小田急秦野駅北口を9時にスタート、秦野駅の標高は97m。水無川に架かる「かながわの橋100選」に選定されている「まほろば大橋」を渡ります。橋上には高さ10mの時計塔が立っています。左岸の河川敷を下流へ、前日より5℃低い予報通り風が冷たいです。県道秦野二宮線に出て花壇のある公園でストレッチ、熊坂リーダーがコース説明を行い、健脚初デビューの綱さんと舟田さんが紹介されました。9時38分に公園を出て県道秦野二宮線を北に進みます。弘法山公園入口の大きな看板が見えて来ました。道標は、「浅間山まで0.5km」「権現山まで0.9km」「弘法山まで1.7km」を示しています。



## 登山口～浅間山(標高196m)～10時11分権現山(標高243.3m)

小橋を渡り、登山口へ到着しました。ここからは二班に分かれて歩きます。先行はA班で先頭は市村サブリナー、後行はB班で先頭は熊坂リーダーです。いきなりの九十九折の急登、他のグループとも入り混じっての上りです。九十九折を抜けて落ち葉の広場をカサカサと歩き、標高196mの浅間山へ、登山口から約100m上って来ました。水分補給の小休憩をしてスタート、少し下りて権現山の入り口へ、権現山までは200mの距離です。ここからは木段の直登、紅葉が見ごろを迎えています。A班の河野さん、稲葉さんが10時11分、標高243.3mの権現山に到着。続いて熊坂さん、中西さんらのB班も到着しました。



## 展望台からの景観は抜群 あいにくと富士山は雲の中

浅間山、権現山と二つの山を踏破して小休憩。権現山は「関東の富士見百景」に選定されていて、展望台からの景観は抜群です。南方向には相模湾に浮かぶように大島が見え、眼下には東名高速道路が東西に走っています。西に目を移すと箱根連山、カメラには駒ヶ岳、神山、明神ヶ岳、金時山が写り、手前に曾我丘陵、眼下には秦野市街地が広がっています。少し右にカメラを向けると小田急線と秦野駅が写っています。この方向の先に富士山が見えるはずでしたがあいにくと雲の中でした。北には姿美しい大山、東には関東平野が広がり、都心のビル群が見えます。「権現山」の山頂標識を挟んで記念写真を撮影、半袖の方がいますね。



# 権現山10時23分～馬場道～10時40分弘法山（標高235m）

10時23分、権現山から弘法山をめざしてスタートです。整備された木段の両脇は紅葉が見ごろを迎えていました。木段を下りてフラットな馬場道へ出ると桜並木が続いています。毎年4月上旬には「桜まつり」が行われて多くの方が花見を楽しみに訪れます。高い柿の木が一本、たくさんの実をつけていました。最近テレビのニュース映像で熊が柿の実を食べているところが映し出されて少し複雑な気持ちになりました。フクロウを抱いている女の子と大きなフクロウの上に乗っている男の子のモニュメントがあったのでパチリ。「かながわの景勝50選弘法山」の石碑の前を通り、弘法山への上り道へ。紅葉を愛でながら落ち葉を踏みしめて上って行きます。ここから先、聖峰までトイレがないということで山頂直下のトイレに立ち寄り10時40分、三つ目の山の弘法山山頂（標高235m）に到着しました。



# 弘法山 10時48分～野菊と信仰の道～矢倉沢往還

山頂広場ではコーヒーを入れて飲んでいる若者グループなどがくつろいでいました。最近展望台デッキが作られて、東方向に東京のビル群とスカイツリー、右に視線を移して横浜ランドマークタワー、江の島。南方向には湘南平が展望できました。一息入れて10時48分、大師堂脇の道から念仏山をめざします。道標は、念仏山の先にある高取山、聖峰を案内しています。落ち葉の道を下って行き、「野菊と信仰のみち」に入り北方向への下り道。少し進むと、東海道の脇往還として発達し、江戸赤坂御門から厚木、伊勢原、善波峠、曾屋、干村、松田惣領、関本、足柄峠を抜けて沼津まで伸びている矢倉沢往還に出ました。



# 善波峠～尾根道～鉄塔～11時36分念仏山(標高355m)

善波峠の道標が見当たりませんでした。ここが善波峠です。ここからは念仏山をめざしての上り道です。尾根道を上って行くと「東秦野線14」鉄塔が見えて来ました。鉄塔下を通過、送電線が東西に伸びています。ここから5分ほど上り11時36分、この日四つ目の山の念仏山(標高355m)に到着。しばらくしてB班の高橋友さんや白田さんらが続々と到着。「念仏山の由来」という表示板があり「この山は、昭和15年頃まで旧名古屋村の村人によって、この山の山頂で念仏講が行われていました」と書かれていて、お地蔵さんなどが祀られています。山頂からは明神ヶ岳や金時山の景観を楽しむことができました。



## 昼食タイム12時12分～急登の連続～13時7分高取山(標高556.2m)

山頂標識があるところと念仏講が行われたと思われる小広場に分かれて、少し早めの昼食タイムです。12時12分、A班先行で午後のスタート。「大山・蓑毛」の道標の方向へ、最初は少し下り、あとは木の根の張った急登の連続です。足取り位置を慎重に、岩場では手も使ったの登り、「上り」というよりは「登り」です。2回ほど水分補給の小休憩をして13時丁度、聖峰分岐に到着。水分補給をして高取山への木段を上って行きます。13時7分、標高556.2mの高取山山頂に到着。念仏山からの標高差は200m以上、標準コースタイムは60分、下見の時は60分ジャストで到着。この日はみなさん快調な足はこび、55分ですべて上ってしまいました。疲れを癒してくれるかのように、山頂標識越しに大山の雄姿が広がっています。



## B班も続々登頂～記念写真撮影～13時36分下山開始～分岐

B班も続々高取山山頂へ、最初に沼津さんと中西さん。白田さんと健脚初参加の網さん。熊坂リーダー、続いて健脚初参加の舟田さんも元気に到着、その後ろはベテラン勅使河原さん。唐さん、高橋玲さん、最後尾担当の飯倉さん。標柱を挟んで大山を背景に五つ目の山頂踏破記念写真を撮影、写真撮影は山田さん、シャッターを切ったあとの山田さんの人差し指、分かっているも爆笑。13時36分、A班先行で下山開始。先頭は熊坂リーダー、最後尾担当の亀田さんの後姿をパチリ。上って来た道を下りて分岐へ、一息入れて聖峰をめざします。A班が下りて、B班の先頭は市村サブリーダー、続いて高橋友さん、中西さん。急峻な下り道を下りていくと、眼下に伊勢原市街地、その先に相模湾と江の島の景観が開けてきました。



# 急峻な下り～尾根道～14時20分 聖峰(標高380m) 聖峰不動尊

急峻な下りを過ぎて緩やかな尾根道へ、ときおり紅葉が現れます。14時20分、標高380mの聖峰に下りて来ました。これで五つの山と一つの峰を縦走です。説明版に「栗原の西方に群立する山々の中央にお椀を伏せたような山が聖峯である。標高は375メートル。聖峯の名は古い伝説の中で生まれた・・・」と書かれていました。(レポートでは、地図表記の聖峰、標高380mを使用)。長寿・安産・足腰の守護仏である聖峰不動尊が祀られています。みなさんの視線の先には、眼下には伊勢原市街地、遠く関東平野の景色が広がっています。ここから上りはなし、歩いてきた感たっぷり、ゆったりと景観を堪能しました。



# 五山一峰縦走記念写真 14時32分～九十九曲参道

五山一峰縦走をやり遂げて聖峰不動尊の前で記念写真を撮影、カメラマンは熊坂リーダー。写真に写っている女性は12人、男性は6人のみ、健脚コースは女性に席卷されてしまいそうな女性パワーを感じる写真です。ここからは班分けなしで九十九曲参道を下ります。14時32分下山開始、先頭は熊坂リーダー、最後尾担当は飯倉さんです。前方に広がる景観を楽しみながら、とは言っても足元の落ち葉に注意しながらスキが茂った斜面の九十九曲を下りていきます。



# 右へ左へ10数回で折り返しの九十九曲参道～14時55分下山

聖峰の急斜面に作られた九十九曲参道、道幅は1m足らずで右へ左へ10数回で折り返し。何十回と方向転回、こんな九十九折りは初めての経験です。聖峰への参拝のために築いた九十九曲参道なのでしょう。九十九曲参道をおりて落ち葉の積み重なる緩やかな道を下って行きます。カメラを向けたら舟田さんがダブルVサインで応えてくれました。14時55分、車道に出て下山完了。ドローンで上空からとって見たい九十九曲です。手書きの地図があり、九十九曲参道の脇に女坂が描かれています。中西さんと沼津さん、スマホ見て何やら確認中。道標は「三之宮比々多神社まで1.6km、神戸バス停まで2.5km」を示しています。



# 冬桜・皇帝ダリア・ミカン・柿・紅葉 贅沢な晩秋の里山歩き

次の目的地三之宮比々多神社をめざして舗装道路を下って行きます。視線の遠く先には住宅街が広がっていて、まだまだ高台です。道端には淡いピンク色の冬桜が咲き、青空に皇帝ダリアが映えています。緩やか下り道、足取りも軽く進んで行きます。民家が出て来たところにミカンの無人販売所があり、みなさんの足が止まります。一袋に幾つ入っているのでしょうか300円でお買い上げです。農家の庭先の柿の木にはまだ実がたくさんついていました。栗原大橋のところでは色鮮やかな紅葉、色とりどりの晩秋の里山歩き、日常を離れての贅沢なハイキングです。15時26分、三之宮比々多神社に到着しました。



## 三之宮比々多神社～15時56分神戸バス停～伊勢原駅

境内鳥居横に「相生の櫨」の巨木があり注連縄がまかれています。境内の一角をお借りしてクールダウン、木の上高いところにヤドリギが丸く茂っていました。神社を出て、住宅街を歩いて15時56分に神戸バス停に到着。歩数2万歩、距離11.5kmでした。バス到着まだ時間があり、みなさんバス待ちをしながら談笑。北西方向に上って来た高取山、山頂にNHKのテレビ塔が見えます。秦野駅からも見えるとのこと、テレビ塔を目印に探してみたいと思いました。大分薄暗くなり電線にはムクドリの大群が押し寄せて羽を休めています。16時44分発のバスが少し遅れて到着、小田急伊勢原駅への帰路となりました。



(市村記)